

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input checked="" type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塩崎 智一
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3414
事務事業名	13820 産地ブランド環境整備事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012100 農業の活性化											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費										
	事業	960000 産地ブランド環境整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
シヤインマスカット・ナガノパープルの有利販売のための長期貯蔵用冷蔵庫のリースに対する補助金 アスパラガスの早期及び高収穫を目的とした簡易ハウスの設置の補助金						県（国）交付決定額による精査						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
平成29年度 実績	平成30年度 予定
須高地区37戸のうち須坂市18戸の冷蔵庫を導入した。	完了事業
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		22,567	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	22,567	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	0
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.0
総額		22,567.0	0.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	22,567	産地パワーアップ事業補助金(冷蔵庫の導入)
その他	0	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	冷蔵庫導入による販売期間の長期化と高品質維持が可能となる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	高価格で取引される時期に販売期間をずらすことで、生産農家の所得向上へとつながる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国の補助事業を活用した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

冷蔵庫の導入による高品質なブドウの長期安定供給を図り、ブランド化等を推進することで、ブドウの販売額増につながった。補助事業は終了となるが、引き続きJA、高山村、小布施町と一体となって事業を推進していく。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

国のTPP関連予算を活用し、有効な施設整備等が図れた。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

果物の産地ブランド化を図るため、国のTPP関連の予算を活用し、農業者や団体の必要な設備の導入等について引続き支援を行う。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--